



保護者の皆様へ



夢と希望を! 自信と勇気を!



未来を生きる子供たちに必要な力を育成する

学習指導要領では、「一人一人の児童生徒が、自分のよさや可能性を認識するとともに、あらゆる他者を価値のある存在として尊重し、多様な人々と協働しながら様々な社会的変化を乗り越え、豊かな人生を切り拓き、持続可能な社会の創り手となることができるようにすること」を目指しています。

8月に公表された、令和4年度全国学力・学習状況調査結果からは、目指すべき力の育成に向け、児童生徒の学習の定着状況や生活習慣等を捉えることができます。各学校においては、結果の分析を基に、学校教育活動を通して、学習指導要領に示されている内容を着実に身に付けられるよう、様々な取組が進められています。

子供たちが意欲的に学習に向かい、学力の定着や向上につなげていくためには、ご家庭のご理解とご協力が欠かせません。そこで、ご家庭でもお子さんと一緒に考えてほしい内容について、本リーフレットでご紹介します。



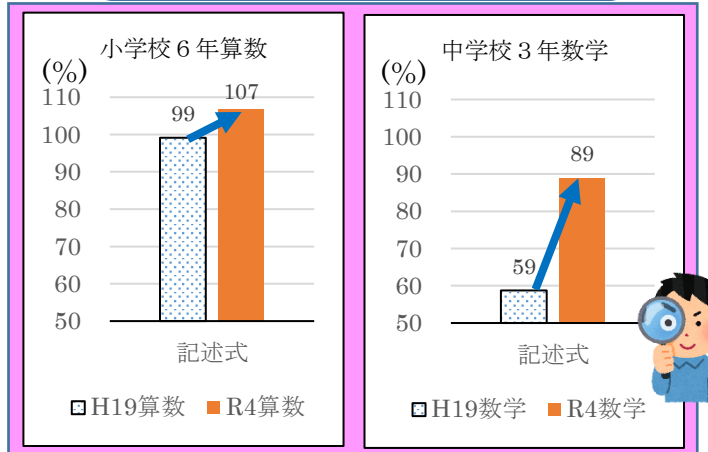
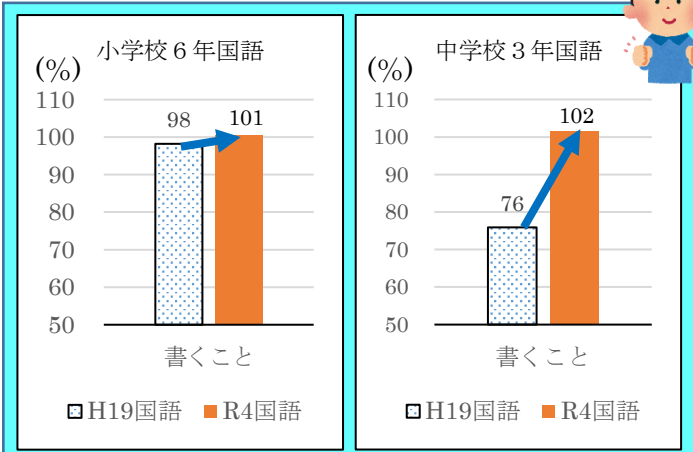
9年間の学びをつなげることで

「考えを表現する力」が伸びています!



小・中学校国語の「書くこと」の成果!

算数・数学の「記述式解答」の成果!



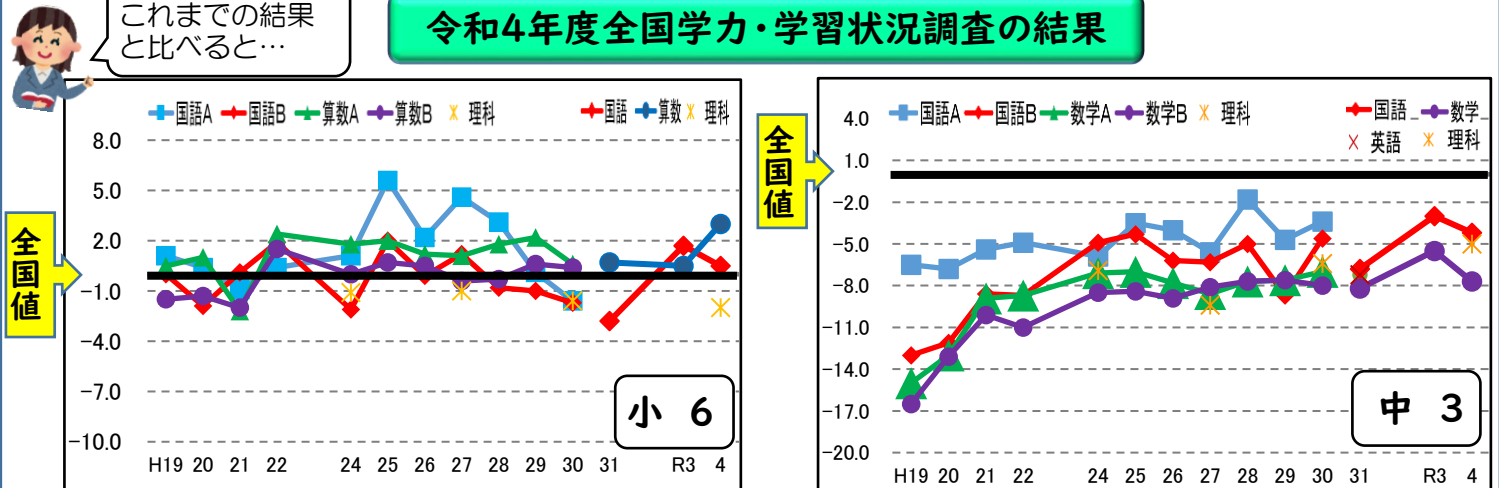
高知市の全国比率 (%)

国語では、目的に応じて、自分の考えを相手に分かりやすく伝えるように書く力が、平成19年度よりも大きく伸びています。算数・数学でも、問題の答えを文章で表現する記述式での解答の正答率が伸びています。

小学校と中学校の9年間の学びをつなげて、答えを求めて終わる授業から、自分の考え方を書いたり、話したりして説明することを大切にした授業へと改善した成果が見られます。

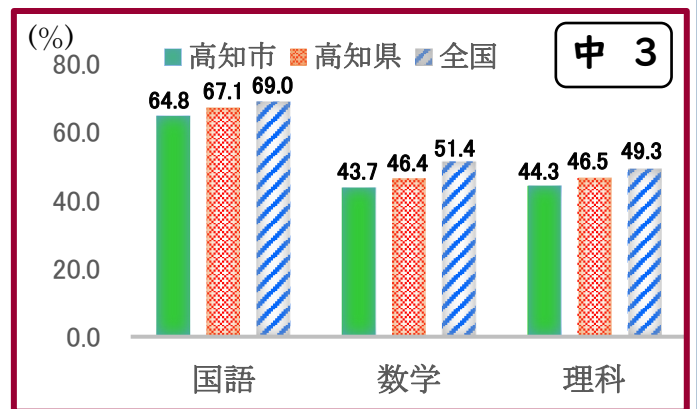
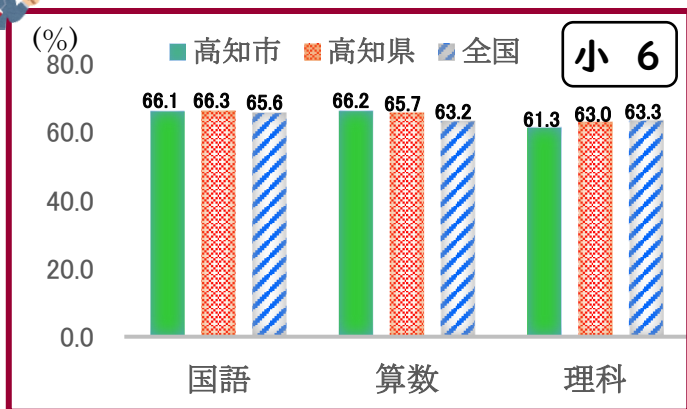
これまでの結果と比べると...

令和4年度全国学力・学習状況調査の結果



※平成22年度～24年度は抽出調査。平成23年度、令和2年度は、全国集計なし。

県や全国と比べると...



小学校6年では、全国と同等のレベルを維持しています。中学校3年の理科では、前回よりも全国との差を縮めています。

令和5年度全国学力・学習状況調査は、小学校6年で国語・算数、中学校3年は国語・数学・英語の実施が予定されています。各学校においては、子供たちが学ぶ楽しさを実感し、さらに力を伸ばすことができるよう、義務教育9年間を見通した取組を進めていきますので、引き続きご協力をお願いします。

※ 文中の「小学校」「中学校」の表記については、それぞれ義務教育学校前期課程、義務教育学校後期課程も含まれます。

子供たちが自信を持って学び、自らの可能性を発揮するために ～ 令和4年度全国学力・学習状況調査 質問紙調査の結果から ～

令和4年度全国学力・学習状況調査の「学力調査」と、「質問紙調査」との関連を基に、子供たちが、学習内容と生活を結び付けながら、身に付けた資質・能力を活用し、学力を高めるためのポイントを二つ紹介します。ご家庭でも、ぜひ参考にしてください。

ポイント

「やる気」や「自信」は学力向上の原動力です！



自分には、よいところがあると思いますか

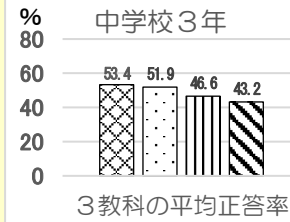
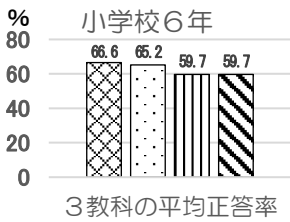
学年	【%】	当てはまる	どちらかといえば当てはまる	どちらかといえば当てはまらない	当てはまらない
小6	高知市	39.7	38.6	14.9	6.8
	全国	39.4	39.9	13.5	7.2
中3	高知市	36.8	41.6	14.1	7.3
	全国	36.0	42.5	14.9	6.6

左の表から、多くの子供たちは「自分にはよいところがある」と肯定的に回答していることが分かります。

また、左下のグラフを見ると、この質問に肯定的に回答している子供たちは、教科の平均正答率が高い傾向にあります。



平均正答率との関連を表すグラフ



当てはまる
 どちらかといえば、当てはまらない
 どちらかといえば、当てはまる
 当てはまらない

子供のやる気や自信を引き出すために

結果だけを見るのではなく努力している過程の姿も認めるようにしましょう。



子供をほめるときは、どの部分がよかったのかを具体的に伝えるようにしましょう。

ポイント

学力を伸ばすためには家庭学習の積み重ねが大切です！



学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの日、勉強をしますか（学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む）

学年	【%】	3時間以上	2時間以上3時間より少ない	1時間以上2時間より少ない	30分以上1時間より少ない	30分より少ない	全くしない
小6	高知市	22.8	13.7	22.7	22.6	12.5	5.8
	全国	11.3	13.8	34.3	25.8	10.5	4.2
中3	高知市	7.9	21.8	28.9	19.8	12.7	8.7
	全国	9.9	25.3	34.3	17.0	8.5	4.9

左の表では、1日当たりの勉強する時間が「30分より少ない」「全くしない」と回答した児童生徒が2割程度います。また、左下のグラフを見ると、学習時間が短いほど、正答率が低くなっています。

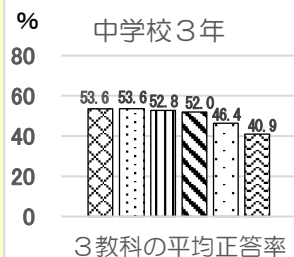
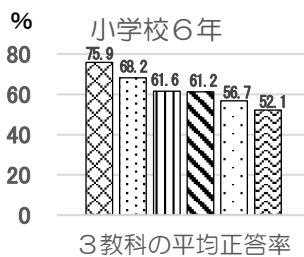


家庭学習の習慣を定着させるために

1日1時間以上を目安として家庭学習に取り組むために、子供自身が学習計画を立てたり、学習中はテレビを消したりするなど、ご家庭でも学習環境を整えましょう。



平均正答率との関連を表すグラフ



3時間以上
 1時間以上、2時間より少ない
 30分より少ない
 2時間以上、3時間より少ない
 30分以上、1時間より少ない
 全くしない

(中学校の家庭学習ノートの例から)



毎日決まった分量で予習の復習をするので、家庭学習の定着を図ることができます。

「主体的・対話的で深い学び」の実現を目指し、タブレットの特性や強みを生かして、自分で調整しながら学習を進める力、周りとは協力して問題を乗り越える力を育成します。

学校と家庭の学びをつなぐ「タブレットの活用」

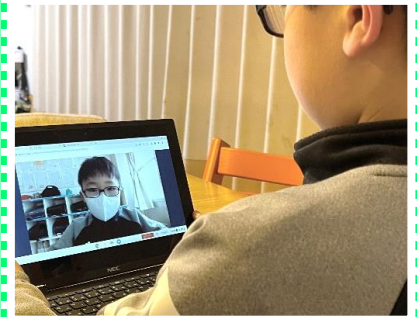
タブレットを活用し、学校での学びと家庭での学びを結び付けることで、学びを深めさせるとともに、子供がタブレットを「文房具」として自由な発想で使えるような学びを目指します。



家庭や学校で、学習した内容を振り返り、自分の学びを記録する。



家庭で調理した様子を撮影し、学校で調理手順のスライドを作成する。



学校で「好きなこと」を伝えるスピーチを録画し、それを家庭で見ながら練習する。

家庭等

学びの接続
連続性

学校

個に適した学びを支える「タブレットの活用」

AIを活用して、個の学習状況に適した内容で学習の定着を図るとともに、個々の子供の興味・関心に合った学びを目指します。



AIドリルによって自分のつまずきや弱点を知り、克服しようと、自分のペースで学びをおし進める。

協働的な学習に向かう「タブレットの活用」

タブレットを活用しながら意見を交流して、新たな気づきや発見、豊かな発想が生まれるような協働的な学びを目指します。



タブレットの画面に映した考えを見合い、気付いた良さなどについて話し合いながら、学びを深める。

学校では、子供たちが意欲的に学び、社会的自立に向けた資質・能力を身に付けるための手段の一つとしてタブレットを活用し、これまでの教育実践と効果的に組み合わせながら、よりよい学びの実現を目指しています。

また、児童生徒がタブレットを積極的に活用していく中で、適切な使い方を身に付けられるよう、学校で指導しています。ご家庭におかれましても、タブレットとの関わり方について、ご留意くださいますようお願いいたします。